

日野稲門会報

第9号

日野稲門会
事務局

森田方
日野市日野本町2-16-3
☎042-581-4088

ご挨拶

日野稲門会々長 千田 吉郎

われた方及び前回の名簿に洩れた方)

種々協議の結果

- 1 会への参加を呼び掛ける。
- 2 同好会活動を拡充する。勉強会も開催したい。
- 3 会員名簿を年度内に発行する。

日野稲門会は昭和54年4月設立以来、早稲田大学校友会方針に沿って活動して参りました。平成5年10月に第3回目の名簿(日野在住者959名)を発行、この内日野稲門会加入者200名を以て年一回の総会と相互の連携を深める同好会活動(囲碁、ゴルフ、ハイキング)を続けて参りました。これ等の内容については別に報告をしますが、高齢化の時代を迎え更に会員の拡大、文化活動の充実を図りたいと念願しております。

今年4月大学に依頼し日野市在住の校友の資料を得て整理しました。

日野市在住校友総数 1446名
内訳 現日野稲門会員 186名
非会員 576名

(平成5年10月名簿に記載されているが会員でない方)

新対象者 684名

(平成5年以降に日野市に住ま

年会費(年2千円)については銀行振込から郵便振替(送料 会負担)としました。ご協力をお願いいたします。

今年度は八王子と日野が三多摩稲門連合会の当番となり、別掲のとおり来年1月に総会の運びとなっております。多数の参加をお願い申し上げます。

諸兄のますますのご発展を祈念しご挨拶いたします。

お知らせ

第20回日野稲門会総会

- 1 日時 平成12年1月22日(土)
午後4時~4時40分
- 2 会場 京王プラザホテル八王子
☎042615613111
4階「なつめ」
- 3 議題 (1) 平成10年度事業報告
(2) 会計報告
(3) 平成11年度事業計画
(4) 〃 予算

第21回早稲田大学

三多摩稲門連合会総会

- 1 日時 平成12年1月22日(土)
午後5時~8時
- 2 会場 京王プラザホテル八王子
5階「翔王」の間
- 3 来賓 早稲田大学総長 奥島 孝康
校友会代表幹事 中嶋 宏
- 4 会費 10,000円

現役員

会長	24体	千田 吉郎
副会長	30建	大谷 一夫
幹事	26法	嶋田 富次
〃	30経	祖母井 美章
〃	30商	木村 三郎
〃	32商	山本 栄道
〃	39法	有山 薫
〃	40経	小笠原 豊
〃	45経	清水 隆
〃	平1電	佐藤 賢司
〃 (事務局)	23専政	森田 治夫

返信用ハガキご記入の上、十二月二十日までに返送下さい。又、会費の納入をお願いします。

『是非多数のご参加を』

平成 10 年 度 決 算 書

10. 4. 1~11. 3.31

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費	156,000	印 刷 費	59,690
受 取 利 息	433	通 信 費	15,815
寄 付 金	0	慶 弔 費	26,000
組織強化補助費	150,000	事 業 費	50,000
前年度繰越金	544,989	会 費	50,000
		謝 礼	90,000
		会 議 費	5,210
		負 担 金	30,420
		次年度繰越金	523,854
計	850,989	計	850,989

平成 11 年 度 予 算

11. 4. 1~12. 3.31

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費	170,000	文 化 活 動 費	114,600
受 取 利 息	400	会 報 発 行 費	40,000
寄 付 金	0	名 簿 関 係 費	407,000
組織強化補助費	150,000	通 信 費	57,550
雑 収 入		旅 費 交 通 費	10,000
総 会 会 費	300,000	会 議 費	10,000
		諸 会 費	60,000
		事 務 用 品 費	60,500
		雑 費	15,000
		総 会	300,000
合 計	620,400	合 計	1,074,650
前年より繰越金	523,854	翌 年 へ 繰 越	69,604
総 計	1,144,254	総 計	1,144,254

ゴルフ同好会について

幹事 森田 治夫

日野稲門会発足後、主として幹事を中心に7回の親睦ゴルフを行ってきました。稲門会活動の柱と捉え本腰を入れて取り組んだのは昨年平成10年初めからでした。

第1回 平成10年4月17日

立川国際カントリー倶楽部 10名

第2回 平成10年9月11日

G M G八王子ゴルフ場 14名

第3回 平成11年4月16日

立川国際カントリークラブ 11名

戦績

第1回

グロス ハンデ グロス

1 清水富夫 46卒 52・50 102 27.6

2 阪本昭夫 37卒 53・46 99 22.8

3 鷹尾清久 38卒 47・45 92 15.6

第2回

グロス ハンデ グロス

1 森田治夫 23卒 41・47 88 20.4

2 山内治男 35卒 41・46 87 14.4

3 齊藤久夫 28卒 48・49 97 24.0

第3回

グロス ハンデ グロス

1 佐野輝男 28卒 51・55 110 31.8

2 阪本昭夫 37卒 53・48 101 25.2

3 嶋田富次 26卒 47・50 97 20.4

76.6

幹事 山本 栄道

日野稲門会ハイキング会報告

郷原迄入り、笹尾根を横寄山、丸山、土俵岳、日原峠そして日原部落よりバスにてJR上野原駅に戻りました。参加者6名

第5回、平成10年11月JR初狩駅より高川山に登り、富士急行の田野倉に下りました、帰りに尾形郷土資料館を見学する予定でしたが生憎と休館でした。参加者8名

第6回、平成11年1月神奈川県藤野町の金剛山に登りました、駅を出るときには多少雨模様でしたが忽ち雪に変わり頂上に着いた時には一面真白となり急遽麓の葛原神社の境内に有る屋根付きの休憩所に飛び込み、近くの酒屋から酒を買い求め、メンバーの方がコンロを持っておられたので、お粥をして遅い昼食をとりました。参加者7名

第7回は同年4月岩殿山を計画致しましたが雨のため中止となりました。

第8回、前回中止となった岩殿山に挑戦しました。平成11年10月JR大月駅よりタクシーで2台にて遅能戸に入り、桜沢峠より稚児落しを経て岩殿山に登りましたが、途中鎖場が数カ所有り低山のわりには変化に富んだ山行でした。参加者8名

以上が今までのハイキング会の活動です。参加される人数は少ないのですが、さすが同窓の好みで和気藹々と云った雰囲気です。今後、参加のご希望がありましたら同封葉書の趣味欄にハイキングとお書き頂ければ次回よ

平成7年度総会のご案内に同封した返信用葉書の通信欄に興味をゴルフ、ハイキング、囲碁等と書かれた方が沢山おられました。幹事の席上で検討した結果、趣味の会を作ろうと云う事で一致、ハイキング会については当面、私が事務局を引き受ける事になりました。現在30名程登録させて頂いております。

年間3〜4回と予定を致しましたが、真夏、真冬、更に梅雨の時期を避けると仲々思うように実行出来ません。

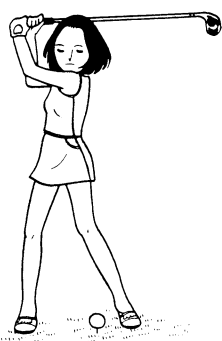
以下現在迄の山行報告を致します。

第1回、平成8年11月に奥多摩の三頭山を計画し、都民の森から三頭大滝、三頭山頂上、そして、数馬バス停迄歩きました。参加者7名

第2回、平成9年5月西武飯能から名郷迄バスで入り、蔵山に登り有馬ダムの有る名栗湖に下りました。参加者5名

第3回、同年9月JR上野原駅よりバスで佐野川迄入り、甲斐武田ののろし台跡の鷹取山に登り藤野駅に下りてきましたが、里山だけに仕事道が多く下りに取ると地図読みが大変でした。参加者8名

第4回、同年12月JR上野原駅よりバスにて



囲碁同好会について

幹事 嶋田富次

囲碁同好会は国立稲門会と合同で活動しております。日野10名、国立11名計21名が月の第2・第4土曜日午後国立市中央公民館に集合、会費は1回500円で運営されています。対局もさることながら、終了後場所を変えて一杯と談笑がなによりという本当に楽しい会です。多数ご参加下さい。お待ちしております。

秋の芋掘会

幹事 小笠原 豊

― チビっ子も大喜び ―

日野稲門会の文化活動で会員とOBを対象にした芋掘会を10月31日(日)に市役所近くの畑で今年初めて実施しました。

参加料は無料で、当日の参加者は総勢50名。千田会長の挨拶の後、いよいよスタート。孫に手を引かれたおじいちゃんが孫と争うようにドロンコになり、歓喜の声を上げています。大きな芋を掘り当てる度に笑いの絶叫。畑全体がお祭り騒ぎのよう。初めて芋掘りした大人も多く、土の香りを思う存分、満喫していました。掘り終えたところでジャンボ芋コンテストに移りました。今回は作付場所をクジ

引で決めたので公明正大20 所帯からジャンボ芋を一本提出してもらい、それぞれ計量しました。

一等から五等迄を入賞とし、一等は事務局幹事の森田さんが何と1.6kgのイモを掘り当て、見事一等の賞品を手にしました。

最後に森田さんから幹事一人一人を参加者に紹介し無事終了しました。予想以上の芋を両手いっぱい持ち、足取りも軽く散会しました。“来年も是非実施して欲しい”という思いを残して。

同好会活動について

ゴルフ、ハイキング、囲碁が現在の活動範囲です。絵画は国立で行っておりますが、その他の同好会もその輪を広げたいと考えております。皆さんのご協力とご参加を希望します。同好会についてのお問い合わせは事務局までどうぞ。



早稲田カードについて

一九八九年十月よりスタートした早稲田カードは、みなさまのご理解とご協力により、累計発行枚数が約六万枚に達するまで成長してまいりました。

また、みなさまのカード利用金額に応じた提携カード会社からの還元金の本年度の実績は左記のとおりとなりましたのでご報告させていただきます。

大学ではこの還元金を原資として、経済的に修学困難な学部学生を対象に「早稲田カード奨学金」を給付しております。当初は94名であった給付人数は、この2年間で16名増員して計110名となり、給付金額も30〜36万円と負担の重い理系学部・学科への配慮を行っております。

これもひとえに、早稲田カード会員のみなさま一人ひとりのご協力によるものと存じ、誠に有り難く厚く御礼申し上げます。

大学および校友会といたしましては、早稲田カードの一層の充実に努め、奨学生の数を少しでも増やしていきたいと考えておりますので、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

早稲田カードによる

奨学資金受入額

- 一九九八年上期(四月〜九月) 二九、八〇一、九七二円
- 一九九八下期(十月〜三月) 三一、三六七、八四七円
- 年度計 六一、一六九、八一九円

早稲田カードのお申し込み・お問い合わせ
早稲田大学総長室校友課

03(3202)8040

